

特別免許状を有する教員の活躍している様子 高等学校(福祉)

1 学校での指導内容について

- (1) 指導教科 福祉
- (2) 科目
 - ・生活支援技術(1年生)1クラス
 - ・社会福祉基礎(1年生)3クラス
 - ・生活支援技術(3年生)1クラス
- (3) 部活動 ボランティア部



「千葉県マスコットキャラクター チーバくん」

2 実際に教師として勤務してみての感想・やりがいや、採用前のイメージとの変化

- ・福祉職の間には感じた事のない、パワーを感じます。未来ある高校生と共に学校で学ぶ事ができます。世代の違いはあっても生徒と同じ場所・時間を共有している事は、私自身の人生の中で幸せな時間です。
- ・教職員は自分が想像していた以上に専門科目のスペシャリストが集まっていると感じています。

3 前職の経験が生きているところ

- ・高齢者やその家族との対話を通じて培ったコミュニケーション方法を、生徒との対話や指導に活用しています。
- ・人間の尊厳が一番大切である事を、経験談を含めて生徒に伝えています。
- ・介護や福祉の現場での具体的な事例を通じて、生徒にリアルな状況を教える事ができます。
- ・介護福祉士を目指す生徒の気持ちの揺れ動きは、自分自身も経験しているので、教師、生徒の関係だけではなく、先輩、後輩としても資格取得に向けてサポートできます。

4 今後、特別免許状の授与を受け、教師として勤務することを目指す方へのメッセージ

- ・福祉と教育の結びつきは、とても重要だと感じます。
- ・介護現場の課題は、福祉のすそ野を広げた早期の人材育成だと思っています。
- ・地域福祉ネットワークの中に学校が位置付けられるには、地域をよく知る方の力が必要です。福祉教育を車椅子体験等のイベントだけではなく、身近な社会課題として生徒にもっと知ってもらいたいです。

5 特別免許状を授与された教師の授業を受けた生徒の感想等

- ・福祉の実体験をいれながら説明をしてくださり、内容がわかりやすいです。
- ・今までの「先生」という感じがしません。
- ・先生が福祉現場で働いていた時の話が心に残っていています。(施設利用者の衣服の選択方法など)。

6 特別免許状を授与された教師が採用されたことで変化したことや得られた成果等

- ・(特別免許状の授与された)教師が実際に勤務した、福祉現場の情報を持っていることで、生徒にとって「福祉」をイメージ化しやすい授業を展開でき、他の教員の教材研究の一助となっています。